

事務事業チェックシート

事務事業No 423 事業名 沿岸漁場整備事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		水産業費	
	目		沿岸漁業構造改善事業費	
	大事業		沿岸漁場整備事業	
事項		沿岸漁場整備事業(並型)		

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	4	水産業の振興
基本方針	1	安全で効率的な漁業基地の整備

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H20 ~ H29		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長(Tel)	農林水産課	山本 康造(435-1049)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
和歌浦地先に増殖礁を沈設し、魚礁漁場を造成することにより漁業資源を増やす。	和歌浦湾にマダイ等の稚魚を対象とする増殖礁23基を製作及び沈設。				
事業概要					
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	F P 3 . 2 5 型魚礁の作成及び沈設 作成：4 3 基 沈設：1, 4 7 4 . 9 空m ³ 沈設箇所：2 箇所	F P 3 . 2 5 型魚礁の作成及び沈設 作成：2 7 基 沈設：9 2 6 . 1 空m ³ 沈設箇所：1 箇所 増殖場設置の調査 0 . 8ha	増殖礁設置(和歌浦湾) 定着基礎工(シェルナース 1 . 3 型K 1 2 8 5) 2 3 基作成・設置	増殖礁設置(和歌浦湾) 定着基礎工(シェルナース 1 . 3 型K 1 2 8 5) 1 3 基製作・設置	増殖礁設置(和歌浦湾) 定着基礎工(シェルナース 1 . 3 型K 1 2 8 5) 1 2 基製作・設置

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	29,680	20,577	26,185	25,535	30,678	29,081	37,437		37,437	
	伸び率(%)	-	-	-11.8%		17.2%		22.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	14,868	9,705	9,705	5,852	9,705	4,873	9,705		9,705
		非常勤職員				0					
		小計	14,868	9,705	9,705	5,852	9,705	4,873	9,705		9,705
	国庫支出金	14,100	9,694	12,401	12,084						
	県支出金	9,400	6,463	6,569	5,411	17,424	16,478	21,550		21,550	
	市債	5,500	3,900	6,500	7,200	11,900	11,300	14,200		14,200	
	その他										
	一般財源(税等)	680	520	715	840	1,354	1,303	1,687		1,687	
所要人数	常勤職員	1.97	1.30	1.30	0.77	1.30	0.64	1.3		1.3	
	非常勤職員				0.00						
主な予算内訳											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	魚礁設置(空m ³) 1基当たり34.3空m ³	年度目標値			1,784	926			
		実績値			1,475	926			
	年度別達成度			82.7%	100.0%				
	増養殖場設置	年度目標値			0	-	0.4	0.4	
		実績値			0	-	0.4		
	年度別達成度			0.0%	-	100.0%			
単位	h a	全体目標値	0.8	全体目標達成度	50.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	漁礁の沈設により、漁場環境の改善を図り水産資源の回復と魚家経営の安定につながっている。
「見直し」 「改善」案	